
住友倉庫大阪支店川口倉庫



明治に開港した川口とその周辺には、貿易港として複数の倉庫建築が建てられたが、住友倉庫は1902（明治35）年以降、現在の大阪市中央卸売市場の地に1万㎡以上の床を誇る倉庫群を形成していった。それが1931（昭和6）年に開場する市場の建設に伴って大阪市から移転を求められ、対岸の川口に新たに建てたのが、現在の川口倉庫である。住友倉庫はそれまでに様々な構法を用いて倉庫を建設してきたが、社内で倉庫の設計を主導した常務取締役（当時）の山本五郎はある文章で、「殆ど完全な、（中略）世界の何処へ出しても恥ずかしくない」倉庫を作ったと自負している。当時、倉庫建築としては国内初の6階建て、「堅牢」のイメージをそのまま形にしたような鉄筋コンクリート造の倉庫建築は、かつてこの地が港として栄えたことを今に伝える、大切なシンボルとなっている。（高岡伸一）

英語名：THE SUMITOMO WAREHOUSE CO., LTD. OSAKA BRANCH KAWAGUCHI WAREHOUSE

所在地：大阪市西区川口2-1-5

建設年：1929年 -